

回到故乡叶落归根。所以劳动力长期流动效应对各省份的福利效应，我想主要是取决于移民的类型。如果是农民工能够形成移民，成为富裕地区的城市居民，对贫困地区更有好处。所以对贫困地区来讲，它们的策略应该包括游说推动全国户籍制度的改革，另外也应该推动推进本地的农地改革，降低农民工进城（城市化）成为城市居民的障碍。另外它们也应该改善本地的投资环境，更多的吸引资本的

流入，贫困地区也可以跟发达省市达成移民的意向和协议，这样也可以增大移民对它们的福利效应，这是有关我这方面研究的一个简单的介绍，谢谢。

○座長 ありがとうございます。それでは、続きまして巖善平先生、お願いします。テーマは「新しい局面を迎えた中国の『三農問題』」です。

---

## 「新しい局面を迎えた中国の『三農問題』」 巖善平（桃山学院大学）

---

皆さん、こんにちは。準備の間に、少し話を始めたいと思います。お手元の資料には「新しい局面を迎えた中国の『三農問題』」となっていますが、時間の関係もありまして、詳しく展開することはしません。ただいまルー・ディン先生のお話をお聞きしますと、私も似たような話を扱っております。人口移動、格差等々を扱っていますが、本日の話は全体のテーマとも関係します「和谐社会」です。農村から見てどのようなことなのか、少し私の考えを紹介したいと思います。

昨日、何人かの先生方から話がありましたように、「和諧」という中国語を分解してみますと、このようになっています。「和」は、ご飯を食べることです。口に入ることです。これがしっかりとできていれば、世の中は 和和气气，没什么大问题。「諧」は、皆が言うこと、言いたいことが言えるような世の中中でなければいけません。ですから、しっかりと食べて、文句があればしっかりと言うことができるような社会になれば、これは「和谐社会」だと私は思っています。

その意味から、今の中国はどのようになっているのでしょうか。経済改革の深化で食糧問題はほぼ解決されていると思います。しかし、政治改革の遅れによって民主化改革はいまだに途中です。かなり中途半端な状況にあるとみています。その意味で、今の中国は「和而不諧」です。ごく一部では衣食が不足していますが、ご飯をしっかりと食べることができます。しかし、非常に安定な社会なのかというと、実にさまざまな問題が潜んでい

るわけです。

今、私が説明したのが趣旨です。それを裏付けるために少しデータを見ていただきながら話を進めたいと思います。

「和」とは食糧問題と見ています。私は農業経済を専門としておりまして、食糧、農業の話もずいぶん扱ってきました。今、説明した中国の「和」は、食糧または飯の問題は基本的に解決されていることは、このグラフからもわかります。大豆の自給率は近年急激に下がっていますが、米、小麦、トウモロコシといった主な穀物は全体として余っています。全体の自給率は、常に 95%以上です。

中国に行かれた経験のある方はおわかりのように、食糧・食物はかなり豊富です。その意味では、中国では「和」という問題は、基本的に解決されているとみています。

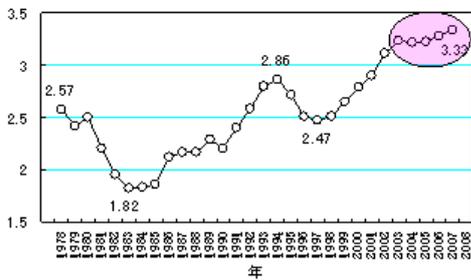
しかし他方では、先ほどのルー・ディン先生の話にもありましたように、格差というもの中国の社会に横たわっています。都市農村格差、地域間格差、所得階層間格差、さまざまなかたちがあります。ここで、経済成長率、都市住民の所得増加率、農民の純収入増加率を見てみますと、改革開放初期を除いて 1980 年代後半以降は、ほとんどの年次において農民の収入増加のスピードが、明らかに都市住民と経済全体の成長スピードを下回っています。

2003 年から胡錦濤・温家宝政権が発足しました。その後、このグラフのように、農民の所得は

上がってきています。上がってきてはいますが、格差が拡大し続けています。スピードはやや鈍ってきてはいますが、格差の拡大が止まっています。これが重要です。

この間、胡錦濤政権では、農民・農村・農業を支援するさまざまな政策が出されています。そのため、農民の純収入の増加率は、過去10年と比較するとかなり上がってきてはいます。これが大事です。そうであるにもかかわらず、格差が縮小していません。そこに今、中国の抱える問題の本質があります。

農民の純所得を1とした都市住民の可処分所得の推移

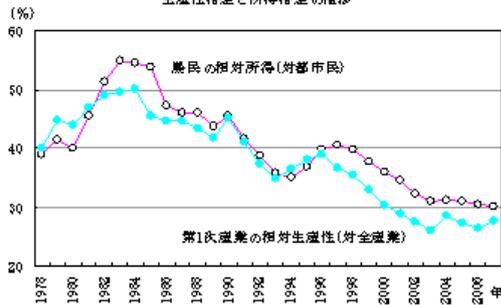


2009年12月06日

5

どうして、このようになってしまったのでしょうか。農業の生産性が低すぎるからなのです。この2本の線は、都市住民の所得を100とした場合に、農民の所得がいくらかを示したものです。ほぼ3分の1です。3.3分の1ですから、ちょうど3割近くです。

生産性格差と所得格差の推移



2009年12月06日

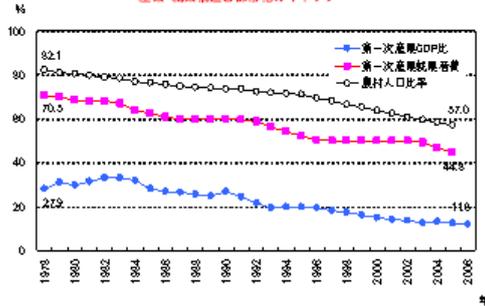
6

これは農業の相対的労働生産性が低いからです。この両者の相関関数は0.96です。ですから、農業の労働生産性を上げないことには、やはり格差の是正は無理だということがわかります。

では、なぜ農業の労働生産性が上がらないのでしょうか。農民たちを都市へ行かせないようにな

っているからです。いわゆる農民差別、戸籍制度に基づいた移住制限などがあったからです。

産業・就業構造と都市化のギャップ

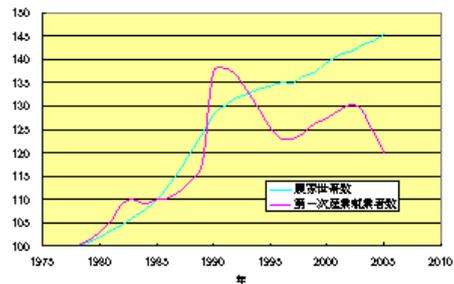


2009年12月06日

7

この30年間、中国の産業構造、就業構造には大きな変化がありました。農村の人口は、データがやや古いですが、改革開放当初は100人中82人が農村に住んでいましたが、今は57人ぐらいです。そして、農業で働く者の割合は約70%から約40%まで下がっています。

農家世帯数、第一次産業就業者数の推移(1978年=100)



2009年12月06日

8

それはいいのですが、農村に住む人口、あるいは農業で働く人口はまったく減っていません。この線が農村の世帯数の変化です。改革開放から30年が経過しても、農家の世帯数は45%増えました。そして、農業で働く者の数が2億9,000万人から3億1,000万人に増えました。これが中国農業の抱える問題の根源です。経済が発展しても、その恩恵は農村、農業のほうにしっかりと行き渡っていないのです。

その背景には、農民を差別する制度があります。よく言われます「戸籍制度」です。もう1つは、いわゆる政治権利の制限です。ここに2004年の「選挙法」の規定があります。私は、中国の一票の格差について日本で初めて言いました。新聞等で、「なるほど、中国の農民の1票は都市民の4

分の1しかないのだ」と言い始めているようですが、これは実に大きな意味があります。

- ①人民代表大会は都鎮級—県級—省級—全国と4段階ある。
- ②1995年以降、農民の持つ一票の重みは都市住民の4分の1とされている。
- ③農民の経済的益固はその政治権利に対する制限と関係する。

各級人民代表大会代表数の配分原則(代表1人の代表する人口数)	農村	都市
選挙法の制定または修正の年次	1979	1982
自治州・県・自治県級の人民代表	4	4
省・自治区級の人民代表	4	5
省・直轄市・自治区選出全人代表	4	8
全人代表定員数・人	3000	3000

出所:各「選挙法」に基づいて筆者作成。

放温政権発足後、三農への財政支援が強化され、一定の成果が挙げられた。しかし、問題の根源は、農民の政治権利が制限されるところにあり、戸籍法の制定、選挙法の改正こそが最重要な課題だ。皆が平等に発言できるような政治体制の構築を急ぐ必要がある。

2008年12月06日

10

これを見てください。中国の各レベルの人民代表を選挙する際に、代表枠の振り分けにおいて、農村と都市の割合は農民代表の1人が代表する人数が、都市部代表の4倍になっています。言い換えれば、農民の1票の重みは、都市住民の4分の1しかないということになっています。

過去にさかのぼってみますと、1995年の「選挙法」改正までは8分の1でした。中国では農民は、「二等国民」などと言われますが、そのことを裏付けています。二等ではなく、三等、四等になるかもしれません。この背景には、農民の政治権利に対する厳しい制限があったからです。ですから、その格差という構造を根底から変えるためには、そのあたりからやらないといけないのです。

先ほど言いましたように、胡錦濤・温家宝政権が発足した後、「三農」への財政支援が増えていきます。そのおかげで農民たちの収入も増えてはいます。しかし、先ほどお見せしたように、所得格差の拡大が止まっています。問題の根源は、農民の政治権利が制限されているからです。

これを変えるために、「戸籍法」の制定や「選挙法」の改正が最も重要な時期になっています。やはり、誰もが平等に発言できる、先ほどの和諧の「諧」です。しっかりと発言できる権利が保障されなければいけないのです。

このことは、去る10月におこなわれた中国共産党第17期中央委員会第3回総会でもかなり意識されました。中国の学者、あるいは日本の専門家は、まだ誰も指摘していませんが、よく読んでみたところ、この一文を見つけました。

**新しい目標の達成と都市の発展**

(中国共産党第17期中央委員会第3回総会、07年10月)

▶ **2020年までの目標**

- ①農村経済体制の健全化、都市と農村の一体化を基本的に実現する。
- ②現代農業を著しく発展させ、国の食糧安堵を確保し、農民の所得を2008年比で倍増させ、持続的増産を促進する。
- ③農村基礎道路を強化し村民自治制度を改善し農民の民主権利を確保し保障する。
- ④都市と農村間における教育、医療、文化等の公共サービス供給の均等化を図る。
- ⑤資源節約型・エコ型の農業生産体系を基本的に構築する。

▶ **都市発展における位置づけと目標**

第1点は、都市と農村による**二重構造を打破し**、一体化した発展体制を構築し、教育機会、医療、文化等の公共サービス供給の均等化を図っていくことである。

第2点は、土地の集団所有制を堅持しつつ、農民に**恒久的な農地の賃貸権を付与し**、その使用権の流動性を高めることである。

第3点は、農民の**政治権利を保障し**、徐々に都市と農村で同じ人口比率で人民代表大会の代表選挙を行うようにすることである。

**17期中央委員会選挙法修正の目標** 都市と農村人口比を1:1に近づけ、**拡大農民と都市人口比を1:1に近づけ、都市と農村人口比を1:1に近づけることである。**

2008年12月06日

11

という一文です。これは18,000字に及ぶ決定のなかの一文です。中国共産党中央が問題の所在を認め、それを解決しようとする意思が示された、私は高く評価しています。

少し言いますと、本のなかにはしっかりと書いてありますので、よく読んでいただければわかりますが、例えば、全国の工会組織や青年団、婦人組織がありますが、農民の組織はありません。農会という組織がないのです。中国の農民は9億人とも言われますが、全国の組織が1つもありません。ですから、政治の権利が制限された制度や法律があると同時に、農民たちが自分の意思を表明する組織すら存在しませんし、存在が認められていません。

天安門事件の前に鄧小平さんが、農会について一度検討してみようという話があったようですが、天安門事件で頓挫してしまいました。今もその話自体ができていません。やはり、農民の組織は怖いということもあるのでしょうか。そのようなことも含めて、農民の政治権利の保護、それによる発言権の保護と確保がなければ、中国の都市農村の格差、そして、そこから来た調和的でない社会は改善できないだろうと思います。

ただ、この一文を見て、すごくうれしく思いました。ある雑誌にこれについて書かれているものもありますが、その点は私がすごく評価しております。これから10年、20年先を注意深く観てみたいと思います。以上です。

○座長 ありがとうございます。それでは引き続き、まいります。